

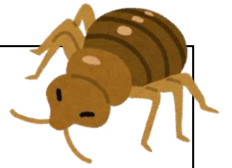
この冬、気をつけてほしい3つの病気

たいじょうほうしん ～トコジラミ・帯状疱疹・感染性胃腸炎～



発疹の画像

トコジラミに注意!



トコジラミとは南京虫なんきんむしとも呼ばれ、寝ている間に体に付いて、血を吸う害虫です。

血を吸われるとかゆくなり、その後に赤い発疹ほしひ(ブツブツ)が現れます。トコジラミに刺されたら、皮膚科を受診しましょう。

トコジラミは、マットレスや布団、枕の隙間に生息しているため、定期的に掃除機そうじきをかけることで予防できます。

※布団を干すだけでは効果はありません。

たいじょうほうしん 帯状疱疹が流行っています

「水痘・帯状疱疹ウイルス」により起こる病気です。かゆみや痛みが生じた後、体の片側に赤い発疹おびが現れ、帯のように一本の線状に広がるのが特徴です。

テレビ CM 等で、50 歳以上の人がかかりやすいと言われていますが、ストレス等により免疫が落ちると、10代の若者でもかかることがあります。

発症したら、皮膚科か内科を受診しましょう。治療が遅れると、後遺症こういしょうが残る場合があるため、できるだけ早く受診しましょう。

※虫刺されと勘違いしやすいので注意しましょう。



感染性胃腸炎を予防しよう

ウイルス感染などにより発症する胃腸炎のことで、腹痛、下痢、嘔吐、発熱けり おうとが主な症状です。特に、冬は「ノロウイルス」に注意が必要です。

感染経路は主に2つです。

- ①汚染された食品を、十分に加熱しないで食べる(生牡蠣かきでよく起こります)
- ②手に付いたウイルスが、口から体内に取り込まれる

予防のため、食べ物にしっかりと火を通し、トイレの後や食事の前には手洗いをしましょう。

※ノロウイルスにアルコール消毒は効きません。石鹸せっけんを使って丁寧ていねいに洗いましょう。

症状が現れた場合は、内科や消化器内科を受診しましょう。

